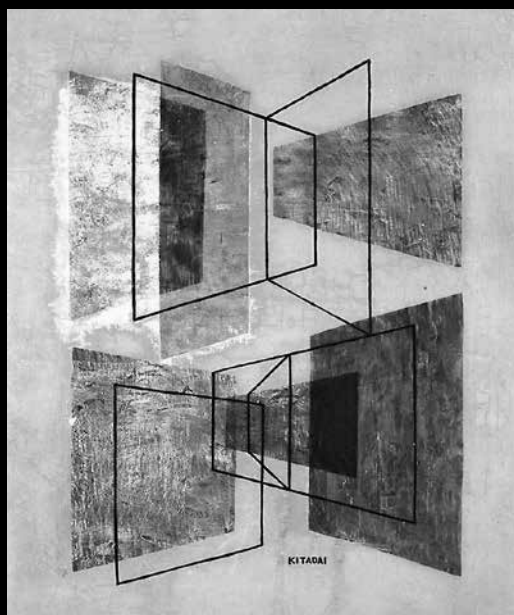


生誕100年記念 北代省三・山崎英夫展
 新居浜・東京 実験工房と「ものづくり」の原点



撮影=大辻清司《北代省三（モビール制作中）》1953年



北代省三《回転する面による構成》1951年
 東京都現代美術館蔵



山崎英夫《糸巻き》1970年代頃



山崎英夫《ハンドランチグライダー（182）》1970年代頃

※表記のないものは本館蔵

さかのぼること約80年前の1939年。工都・新居浜では、技術者や指導者育成のため、新居浜高等工業学校（現：愛媛大学工学部）が設立されました。同校では、機械・工作機械・電気・採鉱などの学科が設けられ、県内外から夢や希望を持って集まった多くの若者たちが新居浜の地で専門技術の習得に努めました。

同校の機械科第1期卒業生に、異色ともいえる前衛美術の世界で活躍したアーティストとエンジニアがいました。一人は北代省三、もう一人は山崎英夫です。

二人は機械工学や科学技術の技能をもとに、東京で岡本太郎（前衛芸術家）や瀧口修造（詩人、美術評論家）らにも応援されながら、総合芸術グループ「実験工房」のメンバーとして現代美術の第一線で活躍を続けました。その後も自作の模型飛行機や風の飛行実験などを通じて親交を深め、生涯にわたり「ものづくり」を楽しみ続けました。

本年度、ともに生誕100年を迎えることを記念して、代表作を含む約200点を紹介。実験工房の源流にもつながる「ものづくり」の原点に迫ります。

担当学芸員による
 ギャラリートーク

日時 12月6日(日)、20日(日)
 令和3年1月10日(日)
 各日 14:00～15:00

定員 10人
 ※当日 13:00 から展示室入口で受け付け・先着順、要観覧券

会期 12月5日(土)～令和3年1月17日(日)

開館時間 9:30～17:00（入場は16:30まで）
 会場 美術館（あかがねミュージアム2階）展示室1
 休館日 12月8日(火)、14日(月)、21日(月)、28日(月)～31日(木)、令和3年1月1日(金)、5日(火)、12日(火)
 観覧料 一般500円 ※20人以上の団体料金400円
 65歳以上400円、大学生以下および各種障がい者手帳などをお持ちの人（介助者1人を含む）無料 ※チケットは1階総合案内で販売

美術館 ☎ 65-3580 ☎ 65-3581